

大学の世界展開力強化事業（ロシア）採択校連絡会 情報共有シート

1. 基本情報

構想名	極東ロシアの未来農業に貢献できる領域横断型人材育成プログラム
大学名	千葉大学
担当部署	学務部教育企画課
コンタクト先	kyoki-kyokaikaku@chiba-u.jp (043-290-3604)

※コンタクト先は、本情報共有シート等において記載された内容等に係る情報交換・問い合わせ等のため、採択大学間で連絡を取り合う際のコンタクト先（メール、TEL等）を記載ください。

2. プロジェクト概要

貴学が取り組まれているプロジェクトの概要についてご記入ください。

<p>本事業は、極東ロシアにおいて食料生産から流通・販売ビジネスまで含めた未来農業（高度施設園芸、植物工場）を理解でき、日露の共同事業に貢献できる人材育成を目的とし、大きく2つの領域でプログラムを実行する。第一は、未来農業の中心である「太陽光利用型植物工場」と「人工光型植物工場」における環境制御、栽培技術・管理、デバイス開発に関するプログラムであり、第二は「太陽光利用型植物工場」と「人工光型植物工場」の生産物管理、マーケティング、ライフサイクルアセスメント等に関するプログラムである。栽培や環境に関わる領域だけではなく、工学やマーケティングに関するプログラムを学び、極東地域における日露共同事業の柱の一つとされている、温室ビジネスで活躍できる人材を育成する。</p>
---

3. プロジェクトへの取組状況

下記5点を中心に貴学の取組状況をご記入ください。

ロシア側大学との調整・連携上の課題及び工夫点	細かい相談はロシア語が必須であり、特定の職員に負担が集中する傾向がある。連絡に携帯用通信アプリ・WhatsAppを取り入れており、迅速かつ細かい相談が可能となっている。
教育システム上の取り組み（学年歴、カリキュラム、学位認定、単位互換、単位認定、成績評価等、教育の質の保証に関する留意点、調整・取組状況）	修了要件の単位数が倍近く異なるため、調整中であるが、1単位の必要授業時間数はほぼ同じなので、今後共同プログラムの設置の検討を進める予定である。 単位認定は既に行っており、今年度のプログラムでは、サハリン総合大学の10日間のプログラムで2単位を、沿海地方農業アカデミーの20日間のプログラムで4単位を認定した。また、8日間の派遣プログラムに参加した学生には、千葉大学で2単位を認定している。
プログラムの実施における特筆すべき成果	今年度は初年度であるので、学生の受入れを11月及び12月、派遣を10月に実施した。3月に派遣を実施予定である。プログラム採択前の6月に「ロシア沿海地方・日本農業ビジネスフォーラム」がウズリースクで開催され、沿海地方政府関係者、ウズリースク市関係者、企業に対して、関連する千葉大学の活動を発表した。その際の依頼により、3月に「日本・ロシア極東農業ビジネスフォーラム」を千葉大学柏の葉キャンパスで開催することとなり、沿海地方、サハリン州、ハバロフスクから行政府、銀行、農業事業者等関係者を招聘する予定である。
危機管理への対策	本プログラムに参加する学生には、事前指導を実施し、危機管理に関する注意を十分に促している。派遣プログラムでは、海外での滞在については細心の注意を払うように指導している。日本人学生には、学生教育研究災害傷害保険に入ることで万が一の場合に対応できるようにしている。また、本学では平成23年度より、日本エマージェンシーアシスタンス株式会社が運営する留学生危機管理サービスOSSMAに加入しており、原則として渡航する学生はこれに登録する。受入プログラムでは、学生は学生教育研究災害傷害保険に入ることで万が一の場合に対応できるようにしている。また、本プログラム実施にあたっては、ISD（インターナショナル・サポート・デスク）が窓口となって緊急時の対応を行う体制をとっている。個別プログラム実施期間中は、教職員が帯同するために、十分に危機管理が行える環境である。
補助金終了後を見据えた今後の展望・方向性	補助金の交付期間中に、信頼関係を構築すると同時に、関係産業の企業との連携を進めたい。

4. プラットフォーム構築事業への要望等

本事業を推進するにあたり、ご意見・ご要望等ございましたらご記入ください。

--